

一般質問 (3)

自転車転倒の歩車道の段差改良を公園のボール遊び禁止の見直しを

藤田 美智子(公明)

質問 要介護状態になった原因を聞き取り調査した。88人中6人が自転車走行中、車道と歩道の5cmの段差で転倒したことがわかり驚いた。試みに幾度も段差を乗り越えてみたが、自転車にとってはかなりの高さ。力強く踏み込んで進めると、角度が浅いと転倒しやすく、バランスを崩す障害物となった。幼児を保育園に送迎する母親や、移動に自転車を

使う高齢者が増える中、この危険な段差は早急に改善すべきと考える。見解を問う。

その他質問等

質問 既に車道と歩道の境界が5cmで整備が完了している道路では、改良工事や

幼児教育の無償化では幼稚園類似施設も無償化対象に!

佐藤 公男(公明)

質問 公明党の推進により2019年10月から幼児教育無償化がスタートする。市内にある幼稚園類似施設も無償化の対象とすべきだ。

質問 制度内容に不明点が多く、国の動向を注視する。ブロック塀の総点検・改修

質問 大阪北部地震翌日にブロック塀総点検緊急要望書を市長に提出し、市は全

公共施設の総点検を行った。今後、民間所有のブロック塀をどうするかが重要だ。

質問 まち全体の安全・安心に向けて必要な対応を進める。

質問 長年提案し、平成29年度に導入された被災者生

地震多発・気候変動時代の防災石神井川の護岸改修を働きかけよ

納田 さおり(無所属)

質問 通学路の緊急ブロック塀点検の第一段階の目視調査は素人の行政職員が行

っており、危険度の見落としが不安だ。実際、本町小北側のコンクリート塀の亀裂は報告が上がっていない。

質問 今回の調査ではコンクリート塀は対象外だった。本町小のブロック塀の亀裂は既に専門業者と倒壊の恐れがないことを確認し補修について調整している。

質問 市のハザードマップは平成12年発生の東海豪雨を想定しており、現在は雨の降り方も総雨量も異なる。現状にあわせた浸水予想に変更しなければならぬ。

質問 今年度の改正時には

土砂災害警戒区域を示す。石神井川の時間雨量50mm対応の護岸改修率は市部において20%。文化大橋以西は都市計画河川にも入らず整備の遅れが懸念される。東京都に護岸改修促進を強く働きかけるべきだ。

質問 柳沢橋付近より上流の未着手区間の具体的計画がなく、整備を要望する。

質問 災害ボランティアの確保にはボランティアセンターの立ち上げ時が重要だ。体制整備の取り組み状況は

ため、ボランティアセンターを速やかに設置し、平時から事業者と協定を結ぶ等の取り組みを進める。

市民が安全に暮らすために!建設技能労働者働き方改革!

森 信一(立憲改)

質問 通学路に数多く存在する個人が所有するブロック塀等の安全点検について市の考え及び対応を問う。

質問 市ホームページでは

ブロック塀の簡易診断票や点検のチェックポイントを掲載し、相談に応じている。

質問 歩きながら、または自転車で乗るがスマートフォンを操作する若者が増え、歩行者と衝突して死亡に至る事故が多発している。西東京市の取り組みを問う。

質問 中高生に自転車

の安全利用等、交通ルールの遵守の啓発を

実施する。

統合新庁舎の用地購入は必要か健康応援都市等の事業へ予算を!

二木 孝之(立憲改)

質問 統合庁舎の用地購入費は30億円と見込まれている。用地購入費も庁舎整備基金に積み立てられているが、用地確保のめどは今日においても進展していない。健康応援都市に関する事業等に使うべきではないか。

質問 現段階では、市中心エリアの具体的な用地の特定に至っていないが、市中心エリアでの統合の可能性について検討していく。

質問 高齢者夫婦などの場合、どちらかが亡くなったことによる各種手続は、非常に煩雑で難しい。総合相談窓口やコンシェルジュの仕組みが必要であるが、本市の取り組みは。

質問 高齢者の進展に伴い、高齢者に寄り添い手続のサポートができる仕組みは、二丁目が高まる。現在、両庁舎における暫定的な対応方策を見据えて、相談・申請等の総合相談窓口について検討している。

質問 待機児童が多い1歳児対策として、平成30年度に開設された、新規認可保育所の4・5歳児の枠を確保した1歳児1年保育は高く評価する。今後の対応について伺う。

質問 平成30年度の実施事業者に対し、来年度も引き続き事業の実施を要請した。来年度に新規開設予定の2園についても調整している。



ことしの西東京市の猛暑対策は?田無駅南口駅前広場の進捗は!

坂井 かずひこ(立憲改)

質問 ことしはまれに見る猛暑だったが、市が取り組んでいる熱中症対策を問う。

市長 市では、7月に田無駅と保谷駅において、熱中症予防のチラシを配布し、8月は首脳部会議において関係部署に熱中症予防の対策を指示した。また、環境省等が賛同する「熱中症予防声かけプロジェクト」の賛同会員として参加し、予防の啓発を行っている。

質問 田無駅南口駅前広場の整備の進捗状況を問う。

市長 5月21日に権利者を対象とした説明会を開催し、事業スケジュールなどの説明をした。欠席者にも個別に内容を説明し、ご意見・ご要望等を伺った。

質問 高齢化が進む中で、西東京市シルバー人材センターにおける会員数や就業者数はどうなっているのか。また、新たな取り組みなど

があるか。



熱中症予防に関するチラシを配布「街頭声掛け運動2018夏」

Infographic titled 'ルールを守って正しく乗りましょう' (Follow the rules and ride properly) with illustrations of bicycle safety rules and a QR code for more information.